

## 瀬川議長記者会見録

日 時：令和2年12月21日（月） 15時30分～16時00分（30分）

場 所：議会棟3階 議会運営委員会室

○進行 時間になりましたので、これより議長記者会見を始めさせていただきます。

なお、大変申し訳ございませんが、事前にご案内した項目のうち、政務活動費の見直しと県議会におけるデジタル化につきましては、時間の関係や内容について再度調整する必要がございますため、次回の会見で改めて説明させていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○瀬川議長 本日は、報道各社の皆様方には、お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、11月定例会中におきましては、議会の運営、あるいは広報等について、多大なご協力をいただきましたことに、改めて厚くお礼を申し上げたいと思います。

議員のコロナ感染につきましては、19日に議長コメントを出させていただきましたが、本県議会においても、感染が拡大し、危機感を強める中、11名が欠席する異例の事態の中での閉会となりました。

多くの県民の皆様方に、ご心配をおかけいたしましたことを心からお詫び申し上げます。

これまで感染拡大防止対策として、県議会の対応方針を作成し、議員、議会事務局職員の感染に備えるとともに、3密を避ける、会食は大人数によるものを避けて、2次会は自粛をするなど、留意すべき事項を各会派で申し合わせ、その徹底を呼びかけてまいりました。

しかしながら、議員4人に感染が広がることとなり、大変残念に感じておりますとともに、議員一人一人に、今、何をすべきだと今ひとつお伝えできなかったことに忸怩たる思いであります。

今回の件を受け、年末年始の訪問を控え、大人数での飲食を避けることなど、改めて各議員に徹底をお願いいたしましたところであります。

県議会といたしましても、改めて襟を正し、議員本人の自覚のもと、感染拡大防止に取り組んでまいりたいと考えております。

今定例会におきましては、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費、災害復旧関連等に要する経費など、総額約218億円の一般会計補正予算をはじめとした議案44件の審議、その他、次期長崎県総合計画、新幹線整備、特定複合観光施設IR区域整備の推進、九州新幹線西九州ルート of 整備促進など、当面する諸課題について、活発な議論が交わされました。

特定複合観光施設IR区域の整備につきましては、本定例会において、中村知事が来年1月のできるだけ早い時期に、IR事業者の公募を開始することと表明されたところであります。

今後、県が区域整備計画の認定申請を行う際には、県議会の議決が必要とされるなど、県議会には非常に重要な役割が課されております。

また、長崎県議会議員の政治倫理に関する条例に基づき、議員一人ひとりが、より一層コンプライアンス意識の徹底を図っていく必要があることを強く自覚する必要があります。

このようなことを踏まえ、県に対し、国の基本方針を受けて、I R事業者等との接触に際しての厳格なルール策定や公募・選定の手続における公平性、公正性並びに透明性の確保等について要請することを内容とする意見書の提出に至りました。

今後、区域認定を確実に得られる事業者が選定されることを希望するものであります。私からは以上であります。

○**読売新聞社** 先ほど年末年始の訪問を控えるという話がありました。これは年末年始の支援者回りも一切しないということになるんですか。

○**瀬川議長** いえ、そこまで厳格なルールづくりではなくて、できるだけ控えてほしいというものであります。

○**読売新聞社** 年末年始については、支援者回りの他に、いわゆる忘年会的なものであったり、支援者との懇親会などもあると思いますが、そのへんについても控えるという形になるんですか。

○**瀬川議長** 基本的には自粛をお願いするということになるろうかと思いますが、久しぶりに会う方、あるいは遠くから来られておる方、県外に一定程度の滞在をされておられる方、あるいは店舗等においても、感染症対策がきちんと施されている店舗等々、条件がいくつかあろうかと存じますけれども、そういったことを念頭に置いて、適切な判断、対応をするということを改めてお願いしたいということであります。

○**共同通信社** 議員の今回の新型コロナ感染の関係で、特に会食については、県の方から何人までとかという指定は現在の感染状況ではなかったと思うんですけども、改めて襟を正して、議員本人の感染防止対策に努めるというのを、もうちょっと具体的に、議員さん本人が、今後、気をつけるべきところを改めて確認してもよろしいでしょうか。

○**瀬川議長** 会食をするにあたっては、大皿による料理やお酌、回し飲みというものを避ける。店舗で飲食する場合は、必要性を考慮した上で、大人数によるものは避けていただく。なお、カラオケや2次会は自粛をしていただくというようなことを明記させていただいております。

○**共同通信社** 会食自体には問題がなかったということでもよろしいでしょうか。会食に行

くこと自体は問題ないけれども、気をつけることがあるという理解でいいですか。

○瀬川議長 基本的に会食自体を禁止するというような考えは、持っておりません。

○共同通信社 意見書の関係で、IRは先ほどお聞きしたんですけれども、核兵器禁止条約の批准を求める意見書が否決されていると思うんですが、皆さんいろいろな意見があると思いますが、来年1月に発効するという段階で、長崎市議会が可決したり、大村とかでも可決されていますが、県議会で否決されたことについて、どう思うかということをお聞きしてもよろしいでしょうか。

○瀬川議長 本条約に係る意見書につきましては、それぞれの会派、議員の意思表示の結果として、否決されたものでありまして、議長としてのコメントは差し控えさせていただきたいと思っております。

○NHK 冒頭にも、先日出していただいたコメントを議長に語っていただきましたが、改めて、感染が明らかになって数日たった中で、議長から県議会議員が感染されたことへの受けとめについてお答えいただけますでしょうか。

○瀬川議長 先ほどの繰り返しになりますが、12月に入り、本県においても感染が拡大して、危機感を持って対応しなければならない状況にあったわけでありまして、そこで11名という議員が本会議に出られないというような状況になりました。最終日の閉会にあたり、議決権の行使ができない議員が11名もいらっしゃるというようなことについては、県民の皆様方に大変申し訳ない思い、大変残念でならないという思いであります。

○NHK 今後、再発防止に向けては、何かお考えがありますでしょうか。

○瀬川議長 先ほども申し上げましたように、申し合わせ事項の中で、こと細かく一定自粛をお願いする部分を皆さんで協議をしていただいて決めていただきました。今一度、これを本日付で議員各位に、私の名前でメールを送信させていただきました。

これまでは、各会派の会派長を通じて周知徹底をお願いしていたところですが、そこを直接、各議員に対してさせていただいて、もう一つ、重大に受け止めていただければというふうに思っております。

今回、体調にいささか変化があって、それに気づかず、また、会食を続けたり、あるいは議員活動を続けたというようなことが本当に事実であるとすれば、そういった状況は今回の新型コロナウイルス感染症対策のいろんな知見を持たれてる方々から、何度も注意事項として呼びかけがあったところでありまして、そこがそうであったとすれば、今一度、注意喚起を同じくお願いをしたいという思いでありまして、やはり、そういっ

た心のちょっとした隙間隙間で、感染予防がきちんとできる状況にありながら、そういったことが原因であるとすれば、そのことで感染予防が遅れた、あるいは感染者になったということだとすれば、大変残念でありますので、併せて、周知徹底をさせていただきたいと思えます。

○NHK 今年恐らく最後の議長の会見になるかと思いますが、今年1年を振り返って、県政の重要なテーマでいくつか動きがありました。議長が印象に残っているものを振り返っていただいたうえで、特に新幹線や、冒頭おっしゃっていただいたIR、石木ダムなどについて、来年の県議会議長としての抱負をお聞かせいただけますでしょうか。

○瀬川議長 やはり何と云っても、今年1年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策の問題であったかと思えます。

長崎港に停泊いたしました旅客船従業員の感染が140数名にも及ぶような状況になったわけでありまして、しかし、これが、国、あるいは自衛隊、長崎大学病院、あらゆる関係方々のご協力をいただいて、市中感染にまで及ばない状況に押さえていただいたということは非常にありがたかったという思いであります。

しかし、ここに来て、第3波が大変なうねりのような形で、我が県を襲いつつあるということについては、県民の皆様方とともに、このコロナ感染対策については、力を合わせて臨んでいかなければならないことではないかなというふうに思っております。

石木ダムにつきましては、一定、司法の場で結論が出た問題でありますので、我々としては、県と連携を取りながら、適切な対応に努めてまいりたいというふうに考えております。

新幹線につきましては、これは、どうしてもフル規格で整備をしなければ、新幹線効果が得られないと、多くの県民が意を同じくされていることではないかなというふうに思っております。佐賀県さんとの間で、県議会同士、いろんな形で共有ができるとすれば、連携ができる部分があるとすれば、連携しながら、同じ行動をとっていければなどというふうに考えております。

いろんな難しい問題ばかり山積する中で、人口減少、あるいは少子高齢化、あるいは社会保障費の増大、企業誘致、大変な問題が残っておりますけれども、来年も引き続き、こういった問題に対して取り組んでいかなければならないことではあります。同時に、新型コロナウイルス感染対策も二つのことを両方考えながらやっていかなければならない、大変難しく、険しい1年になるのではないかなというふうに考えておりますが、議会も、そういった意味では一丸となって、取り組んでまいり所存であります。

○NHK 新幹線の話の中で、両県議会で連携をとりながらというご発言をいただきました。具体的に、何か、来年のうちに佐賀県議会と連携をとりたいなど決まっていることが、もしあれば、教えていただけますでしょうか。

○瀬川議長 私も昨年5月に就任をさせていただいて、佐賀県の議長とも何度かいろんな問題で協議をさせていただく機会がありました。もちろん新幹線もそうですが、過去に佐賀県議会と長崎県議会と定期的にいろんな問題点について、議論をする機会をつくってきたことがあります。そういった機会を作るということについて、改めてご提案をさせていただいて、できる限り早い時期に、そういう機会を持てればと考えております。

○時事通信社 NHKさんの質問の関連なんですけれども、議員の方の感染を受けて、本日付けでメールを出したという説明がありました。議長名で全議員に出されたということよろしいでしょうか。

○瀬川議長 はい。そうです。

○時事通信社 内容は、大人数での会食を控える、年末年始の訪問自粛の大きく2つでよろしいでしょうか。

○事務局 事務局から説明させていただきます。申し合わせ事項の中身は、大きく議員活動について定めておまして、議員活動の中で、訪問については、感染が流行している地域への不要不急の外出は自粛するといったことや、年末年始やお盆期間中の家庭等への訪問は可能な限り自粛する。そういう項目がございます。また、イベント・会合でございませけれども、これは、3密を避けるとともに、滞在時間が短時間となるように努めると記載しております。会食につきましては、先ほど議長が申し上げましたとおり、大皿による料理やお酌、回し飲みを避ける。それから、大人数によるものは避け、2次会等は自粛するというようなこととございます。通常の体温測定や手指消毒の徹底、その他生活全般についての項目もございます。以上でございます。

○朝日新聞社 先ほど議長がおっしゃった、体調に変化があったが、それに気付かず議員活動を続けていたことについて、隙間があったのではないかとおっしゃっていたのは、中村一三さんが微熱を感じながらも、県庁に来られたり、勉強会に参加されたりしたことを指しておっしゃったということよろしいでしょうか。

○瀬川議長 はい、そのことも含めてということをお願いいたします。

○NCC 先ほどから何度も議長におっしゃっていただいているんですけれども、改めて、議長は、今回の感染の拡大の原因、問題点というのほどだったというふうに議長自身認識されているのか改めてお伺いしたい。

○瀬川議長 感染源が未だ特定をされていないようにお伺いしているわけなんですけれども、その感染源が特定できない状況の中で、なかなか難しいお答えになるかと思いますが、

会食だったとすれば、やはり、そういう会食の会場が本当に適切な場所だったのかというようなこと、そして、先ほどから申し上げております大皿で会食をするなどか、酒を飲むときのきちんとしたエチケットを守れとか、そういったもろもろのところに、どこかに隙間があったのではないかなと、今のところ、そう思わざるを得ないということです。

○ONCC あと2点お伺いしたいんですけれども、大人数を避けるとか、会食も短時間の参加ということなんですけれども、人数制限は、特に、例えば5人以上とか、時間は2時間以内とか、何かそういうふうな具体的な数字とかはあるんでしょうか。

○瀬川議長 いや、今のところ具体的な数字というものを持って示してはおりません。

○ONCC 議長の中では大人数というのは、大体、どのぐらいの想定でしょうか。

○瀬川議長 10月に国が示した文書の中には、5名程度という文言が入っていたかと思うんですが、我々が申し合わせで当初8月のお盆前に、申合せを文書で出させていたんですけれども、その頃から言いますと、2桁以上が大人数なのかなという、どこがどう常識なのかわかりませんが、その時はそういった常識がある。だけど、こういう今の環境、今の状況になると、もう2桁と言ってられない、あるいは国はこう示したじゃないとか、あるいは国の示した通知を受けて、本県も総務部長名で通知を出されているところにきちんと数字が載っているというようなところを勘案しながら、常識で対応していただきたいというのが今の私の気持ちです。

○ONCC もう議員個々の判断に任せるというようなことですか。

○瀬川議長 今の現状は、常識としてご判断をする一つの目安になるんじゃないでしょうかということかと思えます。

○ONCC あともう一点、今回の会食といいますか、感染された議員の方々が参加されていた会食というのは、議長は、その会食があったことは承知されていたんでしょうか。

○瀬川議長 いえ、私は、全く知りません。

○毎日新聞社 県議会で、初めて感染が確認された際には、議員ご本人からコメントをいただいておりますが、今回は、2度議長のコメントを出されていたんですが、その対応の違いの理由を教えてください。

前回は、コメントを文書でいただいていたと記憶しておりますが、今回は、いずれも議長からのコメントをいただいております。もし、何か対応の違いに理由がありまし

たら、その理由を教えてもらってもよろしいでしょうか。

○事務局 前回の浦川議員の件につきましては、議員自らのご判断としてコメントを出したいというお話があったということで承って対応させていただきました。今回については、感染が複数に及ぶということがありましたので、これについては、議会全体として判断したというふうな意味合いで、議長コメントを出させていただいた次第です。

○NHK 先ほど九州新幹線について、佐賀県議会との協議の場について、目途がついていれば、教えていただけますでしょうか。

○瀬川議長 できましたら、年度内にお願いしたいという気持ちはありますが、お互い2月定例会を控えてのこともありますし、できるだけ早い時期に、年度内になったとしても、こういった機会を作りたいという気持ちはございます。

○NHK 具体的にどのようなことを協議して、どのようなメンバーで望みたいか、決まっていること、あるいは議長がご予定なさっていることを教えていただけますでしょうか。

○瀬川議長 今までは、過去には会派同士、あるいは党の関係者同士というようなことでやっていたようですが、今回は両県の議長が主催して、できないかというような考えを持っておりまして、もちろん、新幹線のことは、話題に上がってくることはないかなと思います。まずはお互いがそれぞれの立場を述べて、そして相手のお立場も分かる、理解をするという、そういう歩み寄りができるような会合にできればなというふうに思っております。

○西日本新聞社 佐賀県議会との協議の関係で教えてください。これは佐賀県の議長さんにもお話をされているということでよろしいでしょうか。

○瀬川議長 これまで正式に会合を続けてきたわけではなくて、議長同士で、九州各県議会議長会の場であったり、いろんな会う機会の中で、雑談や立ち話やそういったことも含めて、いろんな話をする中で、佐賀と長崎とこれまでやってきた、そういった懇談の場というものを、もう1回できないでしょうかねという雰囲気になったと受け止めております。

○西日本新聞社 雑談というか、正式なかつちりした話し合いではないけれども、雑談したりとかで、一応、両者の意思確認というか、合意とまではいかないんでしょうけども、意思を確認されているというようなニュアンスということですか。

○瀬川議長 はい。

○司会 他にご質問はございませんか。他にご質問がないようでしたら、以上をもちまして議長記者会見を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

★発言内容については、分かりやすいように一部変更している部分があります。